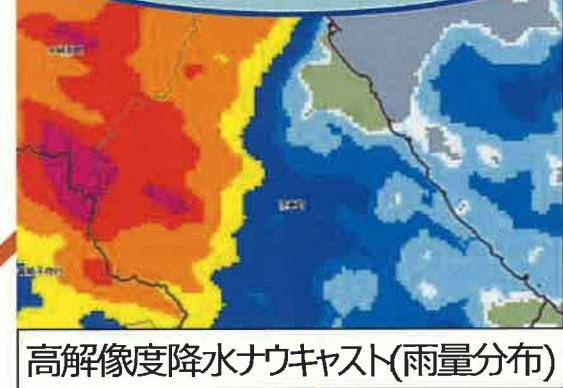


雨量分布から災害発生の危険度分布へ

気象庁では、
警報等と合わせて、どこで
危険度が高まっているか
視覚的に確認できるよう
危険度分布も提供。

大雨



大雨の降っている場所は
気象レーダーで把握可能

(しかし、災害の発生する
場所・時間とは、
必ずしも一致しない。)

土砂災害



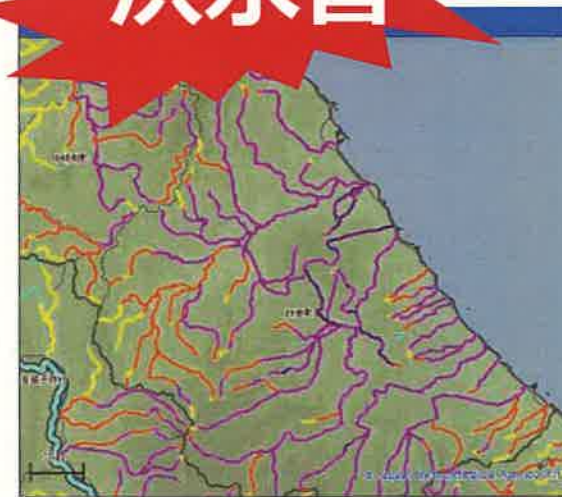
土砂災害警戒判定メッシュ情報
(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)

浸水害



大雨警報(浸水害)の危険度分布

洪水害



洪水警報の危険度分布

(内閣府「平成29年7月九州北部豪雨災害を踏まえた避難に関する検討会」資料より)

<予測情報の把握>

○ 気象庁は、水位上昇の見込みを判断するための情報として、流域雨量指数の予測値（洪水警報の危険度分布）を7月4日から提供を開始した。

【参考】流域雨量指数の予測値（洪水警報の危険度分布）

流域雨量指数の予測値

河川の上流域における降雨によって、どれだけ下流の対象地点における洪水危険度が高まるかを把握するための情報。**6時間先までの水位上昇の見込みが分かる。**

平成29年07月05日13時30分現在

市町村	基準河川	基準Ⅲ	基準Ⅱ	基準Ⅰ	12	13	14	15	16	17	18	19	既往 最大事例
		指数 基準	指数 基準	指数 基準	時 30	時 30	時 30	時 30	時 30	時 30	時 30	時 30	
朝倉市	小石原川	18.8	17.1	13.6	4.5	5.6	7.7	9.2	9.4	9.6	7.9	7.9	17.1 (2012.07.14)
	佐田川	17.7	16.1	12.8	4.5	9.1	14.5	15.9	13.4	13.3	10.1	9.4	15.5 (2012.07.14)
	桂川	13.6	12.4	9.9	3.0	7.4	14.7	15.7	10.1	10.4	7.7	7.2	13.7 (2009.07.25)
	赤谷川	13.2	12.0	9.6	2.0	9.4	11.1	9.5	8.1	7.3	6.5	6.0	13.8 (2012.07.03)
	草場川	4.1	3.7	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	3.9 (2010.07.14)

(気象庁防災情報提供システムで提供。一部加工。)

※「避難勧告等に関するガイドライン」において、**其他河川**では、**水位情報**（水位を観測している場合）や**現地情報**を活用した上で、**水位上昇の見込みを判断するための情報**の1つとして**流域雨量指数の予測値**（洪水警報の危険度分布）を**避難勧告等の発令の参考**とできる旨記載されている。

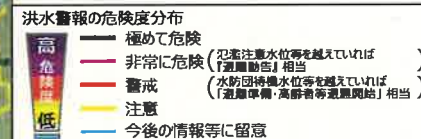
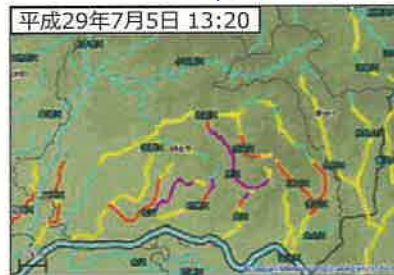
「避難勧告等に関するガイドライン」水位上昇の見込みを判断するための情報

	洪水予報河川	水位周知河川	其他河川
確かからさ	① 水位予測（指定河川洪水予報）		
	② 上流の水位（上流地点に水位観測所がある場合）		
	③ 流域雨量指数の予測値 実況雨量や予測雨量（流域平均雨量、代表地点の雨量等）		

洪水警報の危険度分布

3時間先までに危険度がどこで高まるか確認できる。
(常時10分毎に更新。)

平成29年7月5日 13:20



(気象庁ホームページで提供。)

3時間先までの最大危険度を
地図上に表示。

平成29年7月5日 13:30



内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」が平成29年1月に改定され、急激な水位上昇が発生する中小河川（水位周知河川・その他河川）における避難勧告等の判断には、水位計や監視カメラ画像から得られる“現地情報”に加え、「流域雨量指数の予測値」（洪水警報の危険度分布）などの水位上昇の見込みが判断できる“予測情報”も合わせて活用するという新たな考え方が追記されました。

